

松前町は野鳥の聖地



松前町は、目の前に津軽海峡を望み、大千軒岳に抱かれた豊かな森が広がる自然環境に恵まれた場所です。

渡り鳥は、繁殖地と越冬地を行き来するために、シベリアやサハリンから本州・四国・九州・沖縄にかけて、また、朝鮮半島から東南アジアにかけて毎年「渡り」をしています。

松前町は北海道の最南端に位置し、海峡に突き出した白神岬があることから、「渡り」をする鳥たちの重要な中継地になっています。

こうした条件が揃っている松前町では、年間を通して多数の野鳥を観察することができ、国内の野鳥約600種類のうち、300種以上が観察されています。



ハヤブサ



ヒヨドリ

10月は大きな群れで対岸を目指すヒヨドリやそのヒヨドリを狙うハヤブサを観察できます。



ノスリ

他にもハチクマ、オオタカ、ハイタカなどのワシタカ類の多くも白神岬から竜飛岬へ渡っていきます。中でもノスリは特に多く観察することができます。



群れで対岸の竜飛岬を目指す

意を決して海へ飛び出して行くも、引き返してくる群れもあり、鳥たちの葛藤が感じられます。

野鳥を間近で観察できる！

白神岬野鳥観察会に参加してみませんか？

野鳥たちを目の前で観察できる、白神岬野鳥観察会を開催します。

野鳥を見てみたい方、自然に興味のある方など、なたでも参加できますので、気軽にご参加ください。

■日時 10月14日(月)

午前7時

役場前駐車場集合

■場所 白神天狗山

■持ち物

双眼鏡・防寒具など

■申込期限 10月10日(木)

■定員 40名

※定員になり次第締め切り

■協力

道南バンディング研究会

■参加料 無料

申込・問

商工観光課

☎ 42-22275④239



メジロ



ウグイス

春になるとウグイスのさえずりが聞こえてきます。これは繁殖のために南から北海道に渡って来たウグイスが求愛のために鳴くからです。他にも多くの鳥たちが繁殖のために北海道に渡って来ます。



ホトトギス
(カツヨウの仲間)

春に森の中から「ポッポッポッポッポッ…」と筒を叩くような音が聞こえたことはありませんか？これはカッコウの仲間のツツドリのみ声です。カッコウの仲間は他の種類の鳥の巣に卵を産み、その鳥にヒナを育てさせる託卵^{うん}という習性を持っています。



ツツドリ



シジュウカラ



ヤマガラ

そして繁殖を終え、秋になると、厳しい冬を越えるため、鳥たちは南を目指します。しかし、全ての鳥が南へ渡っていくわけではなく、年間を通して同じ土地で暮らす鳥や、北海道よりさらに北からやって来る鳥もいます。

ウソはとてもかわいらしい鳥ですが、桜の芽を食べべてしまう少し困った鳥でもあります。



ウソ



シマエナガ



ゴジュウカラ

オオハクチョウは北海道よりさらに北で繁殖し、厳しい冬を越すために、毎年及部川などによって来ます。



オオハクチョウ

ヤマセミは上川の及部川や江良の大鴨津川などで観察できる魚を捕るのがとても上手な鳥です。



ヤマセミ